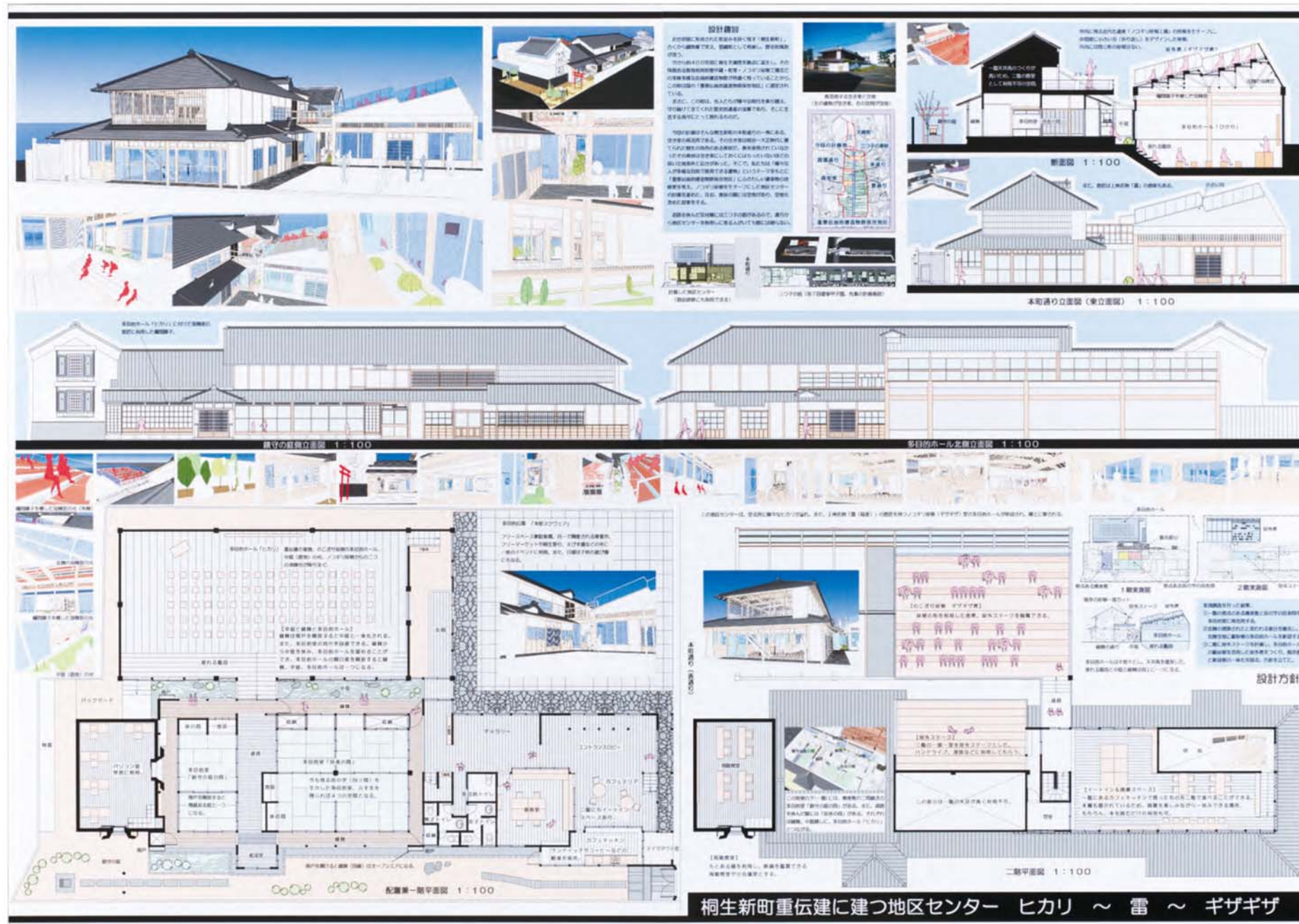


# 優勝

## 桐生新町重伝建に建つ地区センター ヒカリ～雷～ギザギザ

群馬 群馬県立桐生工業高等学校 選手…3年生6名、1年生3名[男子5名、女子4名]



甲子園のツボをよく知っている。群馬県は、建築甲子園でのベスト8の常連校だ。過去9回中、なんと6回も入っている。過去、前橋工業3回、桐生工業3回、そして今回だ。県内のレベルも高く、勝ち抜いて甲子園に出るのも容易なことではなかったろう。しかし、これまで「優勝」の経験はなかった。群馬県としても初優勝だ。どこが評価されたのだろうか？

計画地は、織物関係の蔵や町家、ノコギリ屋根工場など歴史的な建造物が多くみられ、地割りもよく残っている桐生新町重要伝統的建造物群保存地区内の一画にある空き家の再活用の提案である。

地区の特徴や特色をよく捉えて計画されている。

元織物工場であった大空間を多目的ホールに活用、あわせて、ノコギリ屋根の形態そのものをギャラリーの観客席に利用。

建築手法も、伝統家屋を維持しつつの増築、減築、リノベーションと多彩で器用だ。

空間のつくり方も、光の取り入れ方や断面で表現されたボリューム感など絶妙である。使われ方のシーンも多彩であった。惜しむらくは、重伝建地区内のまちなみの連続性や周辺環境を表現していただきたかった。

これまでの群馬県としての伝統を守りつつの初優勝おめでとうございます。(森崎)

### 受賞のこぼ

このたび、夢の全国優勝という最高の賞をいただきましたことありがとうございました。私たちの学校は5年前より、隣の重伝建に目を向け、地域の方に協力をいただきながら、今も保存整備に励む、町づくりの皆様の一員になったつもりで、建築甲子園に参加してきました。何度も何度も高い壁に阻まれながら、先輩たちが悔しい思いをして残してくれた作品の積み重ねで勝ち取った優勝だと思っています。先輩たちには感謝しかありません。

また、片山審査委員長をはじめ建築士会連合会の皆様には、建築に熱中できるコンペの開催を今回もしていただき、かつ、表彰式まで開いていただき本当にありがとうございました。今、とても晴れやかで心地がいいです。

作品については、先輩に追いつけ追いつけ越せで、期限のギリギリ間際まで製作し、応募してから審査結果が出るまで、正直不安な気持ちと、もしかしたらというワクワクした気持ちで一杯でした。発表は「まだですか、ま

だですか」と先生に何度も聞く時を過ごしました。クリスマス日に先生から連絡が来たときには、信じられない気持ちと嬉しい気持ちで一杯になりました。今もそのときのフワフワした感じが残っています。

このコンペで得たことは、優勝の喜びや建築知識の向上もちろんありますが、仲間の大切さ、協力していただける関係者のありがたさ、建築の楽しさ苦しさ、桐生の町並みの良さなどを再確認できたことです。

将来は、ここで描いた夢を実現できる力を身につけ、すべての関係者に恩返ししたいと思っています。

終わりに、もう一度、片山委員長をはじめ運営をしていただいた日本建築士会連合会の皆様、作品製作に御協力いただいた地域および市役所の皆様、作品づくりのレールを敷いていただいた先輩に感謝申し上げ謝辞といたします。ありがとうございました。

(3年/新井日和)